

[illegible][illegible]

日本（厚生労働省）では5月31日から1週間を「禁煙週間」と定めております。

WHO による今年の世界禁煙デーのテーマは、

「たばこ産業の干渉から子どもたちを守る」です。

日本の禁煙週間のテーマは、「たばこの健康影響を知ろう！」

～たばことCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の関係性～です。

□■イエローグリーン・ライトアップ・キャンペーン！

この禁煙週間にあわせて、今年初めて東京都と東京都医師会では、禁煙や受動喫煙対策について考えるイエローグリーン・ライトアップ・キャンペーンを実施する予定です。

東京都庁第一本庁舎、東京スカイツリー、隅田川の橋梁などをライトアップされます。

ちなみにイエローグリーンの色は 2002 年に長崎県佐世保市が禁煙と受動喫煙防止のキャンペーンで策定したそうで、2015 年頃から京都、埼玉、滋賀など各地の代表的な建造物などでライトアップキャンペーンが始まったということです。

初夏の夜空にイエローグリーンを見かけたら禁煙週間を思い出してみてください。

☐ ☒ _____ ☒ ☐

今回はたばこに関する最新の世界のニュースを2つご紹介します！

たばこを吸っている方も吸わない方にも読んでいただきたい内容です。

「【1】世界のニュース1 イギリスでは、たばこの購入が「生涯禁止」に!？」

今年の4月にイギリス議会下院にて可決されました。

現在イギリスでたばこを買うことができるのは 18 歳以上ですが、2027 年以降、たばこを買える年齢を毎年 1 歳ずつ引き上げることが計画されています。つまり、2009 年 1 月 1 日以降に生まれた人は、生涯にわたって紙巻きたばこを購入できなくなります。

政府によると「たばこを吸わない世代」をつくることで、今世紀末までに心臓病、脳卒中、肺がんなどの疾患を47万件以上予防できる可能性が見込まれるといます。まさに「子どもたちを守る」政策といえますね。

「【2】世界のニュース2 世界発！カナダの警告表示はたばこ一本一本に

カナダの保健省は去年の世界禁煙デー（2023年5月31日）に、2024年4月中までにたばこ1本ごとに健康への害を警告表示する規制を設けており、今年、ついに警告表示が印刷されたたばこ製品が製造されるようになりました。

警告の文言は（和訳を掲載しています）

- 一服ごとに毒が
- たばこは臓器にダメージを
- たばこの煙は子どもに有害
- たばこは白血病の原因に

など現在6種類が印刷されています。どれもインパクトの強いメッセージですね。

カナダを含め、たばこのパッケージに健康への害を表示する国はたくさんありますが、たばこ一本一本に一本一本に警告を表示するのは世界初であり、最も進んでいる喫煙対策といえます。たばこを買うたび、吸うたびに警告が表示され、お子様の目にも触れる機会が増えます。また、喫煙のきっかけにもなる若い世代でのたばこの誘いもこの勧告により減っていくことも予想されます。

「【3】あなたの卒煙、いつにしますか？

2つの国の例を紹介しましたが、他にもアイルランドや香港、ポルトガルなど喫煙に対する規制や禁煙施策先進国がたくさんあります。

日本も受動喫煙対策など進めてきているのですが、たばこの規制に関するWHOの評価では、日本は4段階評価の下から2番目となっています。

自分のために、ご家族のために、これを機に禁煙に取り組んでみませんか？

<段階別禁煙の進め方>

<https://www.health-net.or.jp/tobacco/kinnen/program.html>

（（公財）健康・体力づくり事業財団ホームページより）

「【4】NCR けんぽの禁煙プログラム参加者募集（残り3枠）

NCR けんぽでは禁煙プログラムを実施しております。

2024 年度は限定 20 名であと残り 3 枠です。

ご希望される方は、早めに申込みをお願いします。

禁煙プログラムは、一人ひとりの状態や悩みに応じた的確な禁煙支援を行います。

●NCR けんぽ禁煙プログラム（チラシ）

https://www.ncrkenpo.or.jp/UploadedFiles/ascure_guidance.pdf

※お申込みはアプリを取得して登録が必要です。登録の際は NCR けんぽの招待コードが必要となりますので（03-5244-9396）お問い合わせください。

■発行：日本N C R健康保険組合 HP <http://www.ncrkenpo.or.jp>

■住所：〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2

■発行日：2024 年 5 月 31 日

■お問い合わせ

・ Mail HIA.JP@ncrkenpo.or.jp ・ Tel 03-5244-9800 ・ Fax 03-5244-9383.
